

部局名	都市整備部			所属名	土木建設課			所属長名	森田 陽一			電 話	483-1151 内線3620		
-----	-------	--	--	-----	-------	--	--	------	-------	--	--	-----	-----------------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3307		事務事業名称	交通安全施設整備事業							短縮コード	経常	3307	臨時	3308	
予算区分	会計	01	一般会計		款	08	土木費		項	02	道路橋梁費		目	04	交通安全対策費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		交通安全基本法									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
交通安全対策基本法の施行に始まる。（昭和45年法律110号） 最終改正（平成11年法律160号） 交通安全施設の整備（道路照明灯・道路反射鏡・防護柵）及び維持管理																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総 合 計 画 の 施 策 体 系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして								
昭和45年 平成11年 平成13年 ・人口の増加 66,345人 166,784人 171,796人 ・車両保有台数の増加 13,766台 88,985台 91,578台 ・事故件数の増加 301件 827件 970件						大項目（節）	01	市民の安全								
						中 項 目	04	交通安全								
						小項目（施策）	02	道路交通環境の整備								
						細 項 目	01	交通安全施設の整備								
02	交通規制の促進															
					実 施 計 画 の 計 画 事 業											
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市が管理している道路 ・歩行者・自転車・通行車両									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： ・交通安全施設の整備 （道路照明灯・道路反射鏡・防護柵） ・交通安全施設の維持補修									
	※平成21年度に計画していること： ・平成20年度と同じ									
意図 （何を狙っているのか）	・交通の安全を確保する									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外									
区 分					単位	19年度	20年度		21年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	・市が管理する道路延長			m	532,923	532,923	539,080	539,080	
	指標2									
	指標3									
活動指標	指標1	整備箇所の道路照明灯・道路反射鏡			基	39	23	32	25	
	指標2	整備箇所の防護柵長			m	178	185	56	185	
	指標3	補修箇所の道路照明灯・道路反射鏡			箇所	323	323	364	364	
成果指標	指標1	安全対策を実施した箇所			箇所	540	531	452	574	
	指標2									
	指標3									
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード	3307	事務事業名称	交通安全施設整備事業				所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			現在まで実施している交通安全施設整備により、市民の安全に寄与していることから現状のまま継続する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止(事業完了含む)							
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			安全施設整備事業として、今後も継続的に対応が必要です。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
・市民（自治会）からの施設整備の要望が多い。 また、市民の安全対策についての一般質問もある。	

所属長コメント	今後においても交通安全施設の整備充実を目指し推進して行きます。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止(事業完了含む)	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	